

25th TIFF 東京国際映画祭

The Power of Films, Now!

TOKYO INTERNATIONAL FILM FESTIVAL

October 20-28, 2012 www.tiff-jp.net

報道資料

2012年10月28日

第25回東京国際映画祭 クロージングセレモニー 各賞受賞作品・受賞者の発表

本日、第25回東京国際映画祭クロージングセレモニーが行なわれました。東京 サクラ グランプリを始めとする各賞の受賞作品と受賞者が発表されましたので、下記の通りご報告いたします。

■日時：10月28日(日) 14:00～

■会場：TOHO シネマズ六本木ヒルズ スクリーン7

コンペティション

- 東京 サクラ グランプリ
- 審査員特別賞
- 最優秀監督賞
- 最優秀女優賞
- 最優秀男優賞
- 最優秀芸術貢献賞
- 観客賞

『もうひとりの息子』 (監督: ローヌ・レヴィ)
『未熟な犯罪者』 (監督: カン・イグアン)
ローヌ・レヴィ (『もうひとりの息子』)
ネスリハン・アタギュル (『天と地の間のどこか』)
ソ・ヨンジュ (『未熟な犯罪者』)
パンカジ・クマール / 『テセウスの船』 撮影監督 (監督: アナンド・ガンディー)
『フラッシュバックメモリーズ 3D』 (監督: 松江哲明)

TOYOTA Earth Grand Prix

- TOYOTA Earth Grand Prix
- 審査員特別賞

『聖者からの食事』 (監督: ヴァレリー・ベルトー、フィリップ・ウィチュス)
『ゴミ地球の代償』 (監督: キャンディダ・ブラディ)

アジアの風

- 最優秀アジア映画賞
- アジア映画賞スペシャル・メンション

『沈黙の夜』 (監督: レイス・チェリッキ)
『ブワカウ』 (監督: ジュン・ロブレス・ラナ)
『兵士、その後』 (監督: アソカ・ハンダガマ)
『老人ホームを飛びだして』 (監督: チャン・ヤン)

日本映画・ある視点

- 作品賞

『GFP BUNNY—タリウム少女のプログラム—』 (監督: 土屋豊)

東京 サクラ グランプリに輝いた『もうひとりの息子』からは、最優秀監督賞も受賞したローヌ・レヴィ監督、プロデューサーのヴィルジニー・ラコンブさん、主演俳優のジュール・シトリュクさんにご登壇いただき、受賞についての喜びのコメントをいただきました。

ローヌ・レヴィ監督: 「本当なのかと信じられない気持ちです。監督賞と東京 サクラ グランプリの両方をいただけるなんて、本当に素晴らしい一日となりました。クルーの全員、そしてフランス人の脚本家の二人にもこの場を借りて感謝します。そしてイスラエルとパレスチナの子供たちにこの映画を捧げます。」

ヴィルジニー・ラコンブさん: 「信じられません! 初めて訪れた東京で二つの賞を頂くなんて! 審査委員の皆さまにお礼申し上げます。そしてローヌと、今では私の息子のような存在になったジュールに感謝します。映画祭の関係者の皆様にもお礼申し上げます!」

ジュール・シトリュクさん: 「この素晴らしい賞を頂戴するにあたり、この映画製作に関わったクルーを初めてとする様々な人たちのことが頭をよぎります。また、この独創的な役を演じる機会、そして人生を変えるような経験をさせてくださったローヌに感謝します。」

コンペティション国際審査委員長のロジャー・コーマンさんは、依田チェアマンおよび映画祭のスタッフのホスピタリティに対し、またコンペティション部門に素晴らしい作品が選ばれていたことに対して、心からの感謝の言葉を述べられました。「どれも素晴らしい作品でした。そのひとつひとつが、私たちを楽しませ、私たちに情報を与え、様々なことを学ばせてくれました。映画の素晴らしさとその力を示す作品群でした。それぞれは、世界の異なる国、異なる文化背景でつくられたものであるものの、人間性という共通のテーマが描かれていました。たとえ国は異なっても、私たちは平等な関係にあります。そして素晴らしい人間であることを願うのです!」

クロージングセレモニーの締めくくりに登壇した依田チェアマンは、東京国際映画祭のチェアマンとしてグリーンカーペットを始めとするエコロジーのコンセプトを取り入れてきたこと、また、「映画の力」を信じ、発信してきた5年間を振り返りました。「私がチェアマンに就任して設立したグリーンカーペット、そしてTOYOTA Earth Grand Prixですが、5年の任期の間、お世話になったエコロジー関係者の皆様に感謝申し上げます。また、ロジャー・コーマンさんを筆頭に、第25回目に相応しい素晴らしい審査委員をお迎えできて本当に嬉しく思います。」また、来年3月をもってチェアマンを退任されることにふれ、次期の東京国際映画祭の代表になる株式会社角川書店の椎名保氏を紹介されました。



©2012 TIFF

【お問合せ】

東京国際映画祭事務局 コミュニケーション広報グループ 宣伝チーム TEL:03-3553-4793 FAX:03-3553-4788